

◆ ヒューズホルダー

- (1) 定格 (4) 端子形状
 (2) 適合ヒューズ (5) 主絶縁材
 (3) キャップ着脱方式 (6) 取得規格

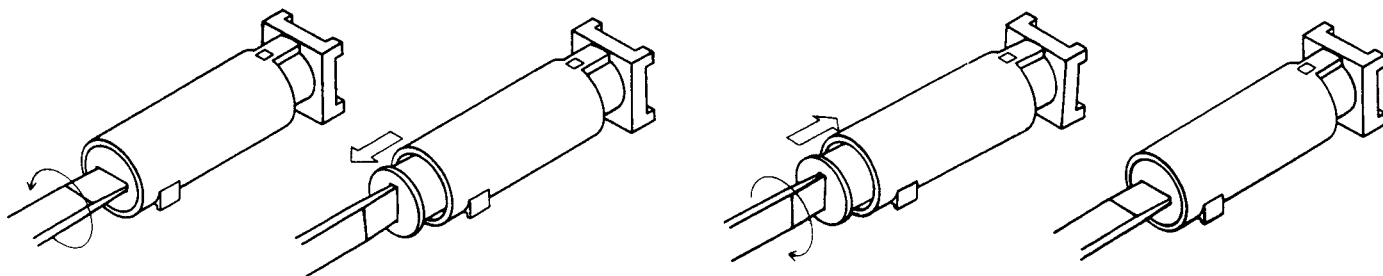
● EST バヨネット式ヒューズホルダーの特長 (PAT.P)

1. リリース (せり上がり) 機構

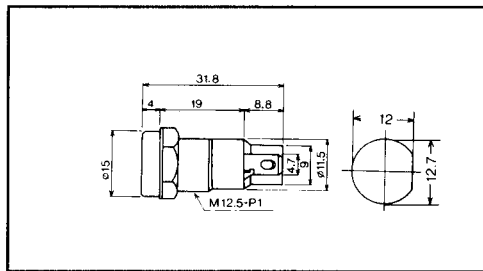
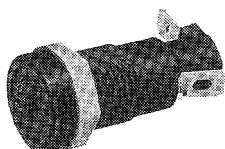
新開発のセルフリリース機構の採用により、ヒューズ管未装着時に於いてもキャップは回転によりボディーから「せり上がって」来ますので、取り外しが容易に行えます。

2. セルフロック機構

新開発のセルフロック機構の採用により、ヒューズ管未装着時でもキャップの脱落を防止致します。

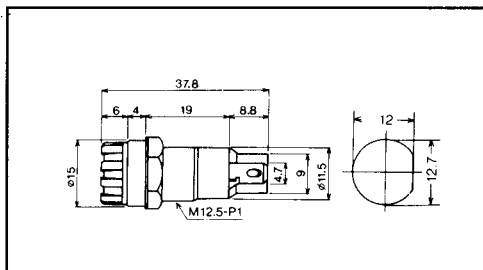
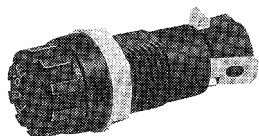


■ MF-528



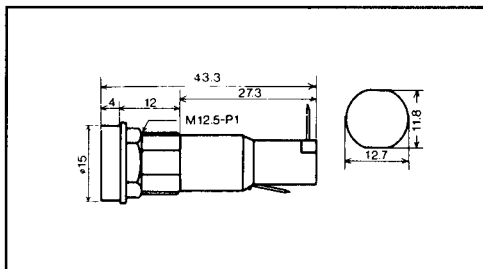
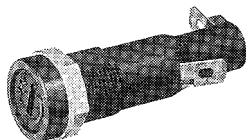
- (1) 10A 250V AC
 (2) $\phi 5.2 \times 20\text{mm}$
 (3) バヨネット式
 (4) ファストン端子#187
 (5) P.B.T
 (6)

■ MF528H



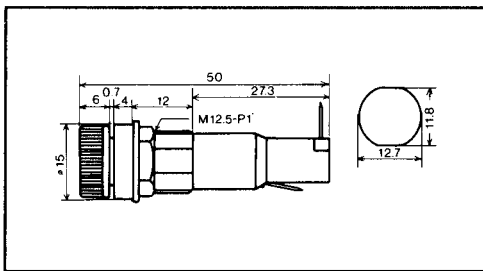
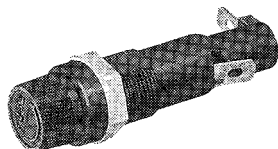
- (1) 10A 250V AC
 (2) $\phi 5.2 \times 20\text{mm}$
 (3) バヨネット式
 (4) ファストン端子#187
 (5) P.B.T
 (6)

■ MF-530



- (1) 16A 250V AC
 15A 250V AC (UL/ファストン結線時)
 (2) $\phi 6.35 \times 31.8$ $\phi 6.4 \times 30\text{mm}$
 (3) バヨネット式
 (4) ファストン端子#187
 (5) P.B.T
 (6)

■ MF530H



- (1) 16A 250V AC
 15A 250V AC (UL/ファストン結線時)
 (2) $\phi 6.35 \times 31.8$ $\phi 6.4 \times 30\text{mm}$
 (3) バヨネット式
 (4) ファストン端子#187
 (5) P.B.T
 (6)